



〈一つ一つ丁寧に植えています〉

鉢盛おろし

『春が近づいてきました』

春の訪れと共に、朝日村ではレタスの定植作業がはじまってきました。豊かな自然環境と冷涼な気候が特徴であり、レタス栽培に適した条件が整っています。ここでは、レタスが栽培される時期にあたる春と秋に、品質の良いレタスが収穫されることが知られています。

レタスの定植は、春の気温が安定し、霜の心配がなくなる頃に行われます。朝日村では、3月上旬から3月中旬にかけて、定植作業が本格化します。この時期の天候が安定してくると、レタスがしっかりと根を張り、良質な葉を形成していくのです。

農家さんたちにとっては、定植のタイミングやその後の管理が非常に重要です。特に、寒暖差が大きい地域では、霜や急激な気温変化から作物を守るために、十分な対策が求められます。また、定植後は定期的な水やりと、適切な肥料の管理が求められ、レタスの健康を保ちながら収穫に向けて成長を促進します。

農家さんたちが手間暇かけて育てるレタスは、その品質の高さと美味しさで、多くの人々に喜ばれています。これからの季節、朝日村では、自然の恵みを最大限に活かしたレタス栽培が進んでおり、その成果を楽しむに人々がたくさんいることでしょう。

朝日村の農業は、単に物を作るだけでなく、地域社会全体を支え、次世代に向けて地域資源を大切にしながら発展している姿が印象的です。この地域の農業の未来には、大きな可能性が広がっていると言えるでしょう。

朝日村の「スケート」特集！

去る1月26日(日)、貴重な天然リンクとして村内外に知られている朝日村スケート場で恒例の『スケート場まつり』が開催されました。一周約200メートルのコースを使用してのレースや、そりカヌー・コーン倒しといった氷上の遊び3種目が行われ、家族連れを中心とした参加者に加えて松本山雅FC公式マスコットキャラクターのガンズくんも飛び入り参加して大いに盛り上がりました。



コーン倒しゲーム

また、2月8日(土)には岡谷市のやまびこ国際スケートセンターにおいて第45回塩尻市・朝日村ジュニアス



見守る恐竜とガンズくん

ケート競技大会が開催され、朝日村スケート場で練習を積んだあさひ保育園・朝日小学校の児童計12名がエントリーしました。特に、小学校2000メートルリレーでは出場3チーム全てが朝日小学校チーム(今井小児童が2名入ってくれていました)となるなど、あさひっこたちが大活躍する姿が見られました。

当日は日頃から朝日村スケート場の管理運営等に携わっている方々にお話を伺うことができました。

百瀬司郎教育長は、「子どもたちにとっては晴れの舞台。いい経験になったと思う。スケート熱の高まりを感じた。この熱が来年も続くといい」と話してくださいました。また、今季朝日小学校スケート学習の講師を務めてくださった羽多野美映さんからは、「この大会は昨年までは12



リレースタート！

月に開催されていたため12月中旬以降にオープンとなる朝日村スケート場で練習する子どもたちは参加できなかったが(練習する時間がなかった)、関係者の皆さんが時間をかけて交渉してきたことで今年初めて2月の開催となり、多くの子ども達に参加できたことや、日頃リンクの整備に携わってくれているリンクの会の皆さん、シルバーやPTAの方々への感謝とそういった多くのサポーターの力がこれからも必要である」といった話が伺えました。

そして、ちょうど応援にいらしていたリンクの会代表の柳沢武利さんにもお話が伺うことができ、「朝日のリンクでスケートの楽しさを感じてもらえたらよい」とおっしゃっていました。ちなみに『朝日リンクの会』としては令和元年度から活動し

ており、現在会員数8名。シーズン中はほぼ毎朝夕、朝日村スケート場の整備を行ってくださいています。最後に、この日二種目に出場した朝日小学校6年生の山口成海さんに感想をお聞きすると、「初めての大会で緊張した。だけど滑っている途中でも声援が聞こえて嬉しかった。納得いく滑りができた」と誇らしげな笑顔で答えてくれました。

朝日村スケート場。そこは朝日村の伝統スポーツとも言えるスケートに多くの村民が世代を越えて親しめる場所であり、また子ども達にとっては、楽しみながらかけがえのない経験にも繋がっていく貴重な場所であるようです。

そんな場所を守っていくこともまた、私たち大人の大切な役割なのではないでしょうか。



レース参加選手たち

あさひっこの成長を支える 朝日小学校の 給食が知りたい!!

朝日小学校の給食は、小学校の歴史とともに朝日村の子どもたちを支えてきました。今回は、朝日小学校の給食について取材しました。朝日小学校が毎年行っている学校評価アンケートの中で子どもたちや保護者から高い支持を得ています。また、150周年記念式典で子どもたちが作った朝日小学校のパンフレットの中でも朝日小学校のいいところは「給食がおいしい!」が1位でした。



150周年児童作成パンフレット

朝日小学校の給食メニュー大公開! 朝日小学校栄養教諭の先生より

毎日の献立は、朝日村でとれた食材をふんだんに使用し“地産地消”を推進した内容です。地場産物を食べることで、子どもたちには、ふるさとを大切に想う心が育ちます。

また、年に1回、お楽しみとして、クラスごとの希望献立が登場します。ここでは、希望献立に頻繁に登場する人気の2品を紹介します。

とりにくのレモンソース

【材 料】4人分 鶏もも肉…250g ★酒…小さじ1 ★白こしょう…ひとふり ★かたくり粉…小さじ1
◇さとう…大さじ2・1/3 ◇こいくちしょうゆ…大さじ1強 ◇みりん…大さじ1弱
◇レモン汁…大さじ1弱 ◇かたくり粉…小さじ1

- 【作り方】 1 鶏もも肉に★の材料をもみこみ、冷蔵庫で30分～1時間ねかせる。
2 1を焼く。
3 レモンソースを作る。◇の材料のかたくり粉以外を鍋に入れ、火にかけて煮溶かす。
4 ◇のかたくり粉を水でとき、3に入れてとろみをつける。
5 2に4をかける。1枚肉を使った場合は、肉を食べやすい大きさに切る。

はるさめサラダ

【材 料】4人分 乾燥マロニー…25g キャベツ…葉3～4枚(200g) きゅうり…1本(80g)
にんじん…3センチ分(20g) ★酢…大さじ2/3 ★さとう…小さじ1
★こいくちしょうゆ…大さじ1 ★塩…少々 ★ごま油…小さじ1

- 【作り方】 1 乾燥マロニーを既定の時間ゆでてから水で冷やし、水気を切る。
2 キャベツ、きゅうり、にんじんは細切りにする。
3 2をサッとゆでてから水で冷やし、水気を切る。
4 ★を混ぜてドレッシングを作り、1と3を和える



村全体で支える学校給食

令和4年度から朝日小学校の給食は無償化となっています。子どもたちの成長を村全体で支えていこうという思いが伝わります。

給食費無償化の額

年度	給食費単価	無償化金額
令和4年度	1食 280円	11,503千円
令和5年度	1食 280円	11,609千円
令和6年度	1食 300円	12,790千円(予算額)

これからもおいしい給食を食べて、元気いっぱいの学校生活を送ってほしいですね。

熊久保だより

「朝日美術館・民俗資料館発行」

令和6年度 展覧会報告

12月7日～12月27日

R6ベストセレクション展

今回は「デッサン」をテーマに学芸員が収蔵品より選びました。デッサン作品のみならず、作家33名による版画や彫刻などの作品77点の展示と



デッサンを基に制作された松原松造の石膏像

なりました。
「デッサン」と言っても作家によってとらえ方が様々で奥

深いことがわかります。彫刻家の描くデッサンの一本の線のリズムや、描き込みの細や



松本善造「朝日美術館」2009年

かさなど興味深く観ていただきました。

収蔵品はいつでも観ることができると思われがちですが、常設展示を行っていない当館では、機会を逃すと次いつお目に掛かれるか?という作品もたくさんあります。ぜひ収蔵作品展の機会にご覧ください。

令和7年

1月18日～2月2日

鉢盛中学校美術部作品展

鉢盛中学校美術部作品と公募展入選作品、約100点を観いただきました。

爆発的エネルギーとは、このコトでしょうか。今年の部員は約50名。それぞれの「個性あふれる一人一人の創造力（イマジネーション）」を活かした作品が揃いました。



美術部作品展に多くのご家族が訪れました

見どころは、ひとつひとつの作品のこだわりや、細やかさ、メッセージはもちろんですが、圧巻は文化祭白峰祭制作「ステージバック」作品です。今回展示を試みた当館も、みんなの青春が詰まって

いる重量ある特大サイズ（タテ4m×ヨコ8m）作品を初めて展示しました。



鉢盛中学校美術部制作「ステージバック」

制作過程を収めた映像も美術部員がつくり、併せてご覧いただきました。

このスケール感を存分に楽しみ、しっかりと目に焼き付



鉢盛中学校美術部作品とあさひっこたち

けた後は、鑑賞者からメッセージを書いてもらい、生徒のみなさんに届けました。この寒い季節、次の新しい「春」に向かって一足はやくワクワクした展覧会となりました。

2月8日～2月24日
あさひっこ展

今年も元氣いっぱい、驚きや感動、発見の連続の作品が170点、展示会場を埋め尽くしました。

一年生は世界でただひとつの巳年のカレンダーを版画でつくりました。ひとりひとりの頭の中で「蛇」を想像して個性豊かな、それぞれの蛇を自由に表現しました。



じっくり鑑賞して感想を書き留めます

観る人が必ず笑顔になる「顔はめパネル」を作った三年生。顔写真も表情豊かです。それぞれの作品に物語が



他の学年の作品を見て
創作の参考にします

二年生は難しい切り絵に挑戦しました。カッターを使ってきれいに形を切って、色や配置も自分たちで考えました。みんなの作品がステンドグラスのようにキラキラと美しく美術館を彩りました。



カラフルな切り絵作品

込められていて、お天気キャスターになったり、サメに食べられたりとわくわく感いっぱい。ユニークな作品が並びました。

四年生は様々なジャンルにチャレンジしました。躍動感あふれる運動会の様子を描いた作品。「モダンテクニック」という技法をつかって宇宙や花などを表現した作品。さらに、いつもの景色を加工して不思議な世界を写真作品にしました。立体作品「コロコロガール」は、それぞれテーマが設けられていて、細かいところまでのぞき込んでみたくなる作品でした。

五年生は育てた花々を愛情いっぱいに描きました。花の美しさはもちろんですが、自



作品もさまざまな工夫が
凝らされています

分の特徴を捉えた自画像も見応えがありました。また生き物たちの魅力を迫力満点に版画で表現した作品は、細かな毛並みや動物の表情などに多くの来館者が見入っていました。



写実的な表現が目を引く自画像

令和7年度

改修工事と長期休館のお知らせ

当館は、改修工事に伴い全館休館いたします。

期間 4月1日～12月末予定
※休館期間中、館内観覧はできません。

学術研究などの資料観覧、貸出対応につきましては、ご相談ください。

〈休館中のお問い合わせ先〉

朝日村中央公民館

〒390-1104



朝日美術館は熊久保遺跡の上に建っています。これまで発掘調査を第10次まで行った中で、多くの縄文時代の遺物（主に土器や石器など）が出

熊久保遺跡出土

とってどきへん
把手土器片

歴史民俗資料館の
お宝拝見⑬

住所…朝日村古見1286
電話…0263-199-2004
FAX…0263-199-13563
E-mail…bijyutu
kan@go.tvm.ne.jp
※休館期間中、整理作業や調査で職員が不在となる場合がございます。ご了承ください。

土しています。
今回は、熊久保遺跡第3・4次調査で出土した「把手土器片」をご紹介します。

把手とは、土器の口縁部に付くものを指します。土偶の顔が付いた顔面把手、へびをモチーフとした蛇体把手、大きな目がこちらを見ているミズク把手など、様々な中、さてこちらの把手はどうでしょう。「鬼瓦」のようなこの形相はまるで邪気を払う鬼神の様です。大きな二つの目、威嚇するよう開いた口、そして二つの角があるようにも見えます。

この土器片の見どころは、鬼の形相だけではありません。大きな群を抜いています。実物サイズはヨコ40cm程ですが、口縁の一部なので直径80cm超の土器であったことが推定できます。これまで展示する機会がなかった土器片ですが、これだけのポリウムと強さを秘めた土器は、当館資料にも類を見ません。
朝日村縄文遺跡にはこのような「スゴイ土器」がまだまだたくさんありそうです。



サラダの里通信



『あさひ有償生活支援サービス・いいせ』研修会



2月3日(月)村内かたくりの里にて、朝日村社会福祉協議会が運営母体となる生活支援サービス『いいせ』の研修会が行われました。『いいせ』とは、おのおの登録された利用者と協力会員が、生活の中にあるちょっとした困り事、手伝って欲しい事などを助け合う有償のサービス制度のことです。この日は村に着任している地域おこし協力隊の細谷さん、佐原さんも参加され、講師として、信大経法学部・井上信宏先生の話を聞きしました。高齢独居化は大きな社会問題でもあり、朝日村でもそれは進んでいます。日々の暮らしの中の些細な困り事・悩み事を同じ地域の人がちょっと手助けをする、これって「とても素敵な事だなあ」って思います。1人と1人の繋がりがその次に伝わって、そのまた次へも伝わって：そうやって地域の輪ができる。井上先生のお話の中にも「つながりと笑顔がある朝日村を作ることが必要です。」とありました。みんなが笑顔で、住み慣れた我が家、我が村で暮らしていけるその為にも「いいせや」とても良い言葉だと思いました。

シリーズ 発見！朝日人③



朝日村にお住まいで「朝日のように自分を輝かせている村民」を紹介していくコーナーです。今回は、旭ヶ丘でパン教室を開催している藤原亜矢さんをご紹介します。教室は、女性専用で2人までの少人数で行われており、家庭でも手に入りやすい道具と材料を使って「一晩たつても柔らかい」

いパン」の作り方を教えてください。

■パン教室を始めたきっかけ

松本のパン教室に参加し、先生が楽しそうにパンを作っている姿を見て、「私もパン教室をやりたい」と思いましたが、子育てで忙しく時間がない、金銭的に可能なのか、などの不安がありました。

そして月日が経ち、「自分のやりたいことに挑戦したい」と思い、新たにパン教室を探していたときに「一晩たつても柔らかいパン」に出会いました。そこでは、

パン作りのノウハウや教室の運営方法などを教えてもらいました。家族の応援もあり、「私にもできるかもしれない」と思い、パン教室を始めることを決意しました。

■パン教室への思い

生徒さんからは、「一晩たつても柔らかいことに感動しました。」「パン生地がおいしくて、家族にもまた作って欲しいと言われました。」など嬉しい感想をいただきます。パン教室に通ってくださる生徒さんは、お仕事をされている方も多くいらっしゃいますが、パン教室が生徒さんの息抜きの場所にもなっているようで嬉しく思います。

「パン作りが楽しい」「パンがおいしくて癒される」など、パン作りを通して自分の人生だけでなく、生徒の皆さんにも生き生きとした人生を歩んでほしいと思います。ぜひ、「一晩たつても柔らかいパン」を作りに来てください。



詳しくはQRコードからホームページをご覧ください。

公民館講座 e スポーツ体験



2月26日(水)、core塩尻でeスポーツの体験会が行われました。参加人数は、大人5名子ども8名、計13名で開催されました。eスポーツは、エレクトロニックスポーツの意味だそうです。さらに簡単に説明すると家庭用ゲーム機を使用する運動?になります。会場には、プレイステーション5が3台と任天堂スイッチ2台が用意されていて、ドライビングシミュレーター、リズムゲーム、パズルゲーム等様々なゲームで遊ぶことが出来ました。子どもたちは、どのゲームも上手で大変感心しました。

ファミコン世代の筆者からすると、ゲームがスポーツになったのですから、大変良い時代になったと感じます。映像も大変きれいで本気で遊んでしまいました。(子どもには、ゲームで負けましたが)時間ギリギリまでみんなで楽しむ事が出来ました。次の機会には、是非皆さんにも体験していただきたいと思います。

太鼓の達人™ ドンダフルフェスティバル & ©Bandai Namco Entertainment Inc.
Gran Turismo 7: TM & ©2025 Sony Interactive Entertainment Inc. Developed by Polyphony Digital Inc.

外山賀野 チェロコンサート



2月11日(火)中央公民館講堂にてキッセイ文化ホール主催、おでかけまつぶん広場In朝日村、外山賀野チェロコンサートが開催され村内外から定員の1000名が集まりました。チェロの外山さんとピアノの腰原菜央さんは長野市出身で高校からのお友達だそうです。

14時から演奏が始まり、途中に休憩を入れながらクラシックをはじめ、ディズニー、ポップス、童謡、ジブリ音楽などアンコールを含めた19曲が息のあった一人によって演奏され、みなさんの音楽に聴き入っていました。

村内外から定員を大幅に超える申し込みがあつたそうで、人気すぎて残念ながら参加できなかった方もいた程だそうです。会場の公民館講堂は満席でした。

入場者の割合は村内35%、村外65%で朝日村に来たのは初めてですと話す方もいました。

朝日小学校スキー教室



1月29日(水)、2月5日(水)の両日、朝日小学校児童のスキー教室が村内プライムスキー場にて行われました。例年の行事とはいえ、児童たち全員が存分にスキーを楽しんだようです。

1年生担任の柳澤匡(ただし)先生に『スキー教室』の意義をお尋ねしましたところ、『学区内にスキー場、スケート場の両方が在り、ウィンタースポーツに親しむには大変恵まれた環境です。子どもたちにはそれを通じて体力・知力を養い、ひいてはそれが郷土愛を育むきっかけとなつて欲しい』との事でした。スキーは生涯を通じて親しめるスポーツとも言われますから、これからもずっと楽しみながら続けて欲しいものです。ね。

窓口情報

※ご家族の了承を得て記載しています。

おくやみ

地区名	氏名	年齢	世帯主
沢下	二茅 操	95	二茅 昭敏
南下	上條 てるミ	96	上條 多門
御馬越	栗津原 貢	82	本 人
御馬越	原 ちゑ子	86	原 茂樹
御馬越	齊藤 喜子	94	齊藤 一
中村	清沢 惣三郎	77	本 人
一之沢	上條 ちひろ	101	上條 令次郎
本郷	荒崎 富江	91	荒崎 俊夫
上組	柳沢 好郎	91	本 人
三ヶ組	清沢 みえ子	85	清沢 淳
三ヶ組	塩原 嘉清	91	塩原 千恵子

保育園

春の音が聞こえ始め、お散歩が楽しい季節になりました。園児とお散歩すると色々な発見をしてくれます。色、音、匂い、感じ方もそれぞれ。個性豊かで楽しいお散歩です。一緒にお散歩をするようになったのは昨年からあさひ保育園で「保育園ボランティア」に参加しているからです。きっかけは、村の会議資料の中に「保育園ボランティア」が昔活動されていたことを知り、我が家も大変お世話になった保育園。何か出来る事があればと思い保育園に聞いてみると、時々学生さんたちが活動さ

れていると聞き、私もチャレンジしてみることになりました。

いざ、やってみると保護者として見ていた風景とは違い、先生方の大変さを痛感。忙しい中でも先生方は子どもたちと真に向き合い育んでくださる姿に本当に頭が下がります。先生方に見守っていた大きな育ったあさひっこは誰に対しても挨拶ができニコニコと話しかけてくれます。「見て！見て！これ作ったの」「縄跳びたくさん飛べるよ」子どもたちは自信に満ちた顔で披露してくれます。認め合える環境、互いに尊重できる仲間。そんな事が自然に学び合える保育園だと感じました。はじめはお手伝いという気持ちでしたが今では子どもたちから元気をもらい学びも多くなり、私の生活の活力にもなっています。

チャレンジしてよかった。そんな一年でした。スタートの春。皆さんも参加してみませんか。ぜひ保育園でお待ちしておられます。

お台所
エッセイ
166 横山
(古見)

みんなのアトリエ



「コアラ」
朝日小学校5年1組
二茅 華英さん

耳の毛や木の感じを再現できるように工夫しました。



「ジョーズ」
朝日小学校5年1組
舞原 杏南さん

上手にできました。



「何かを見つめる
レッサーパンダ」
朝日小学校5年1組
上條 羽瑚さん

毛の感じが出るように彫り方を工夫しました。